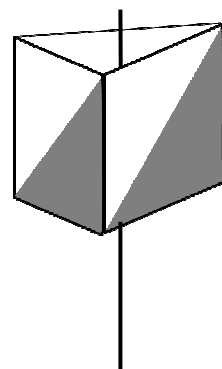


青葉会会報

2010 年度版



もくじ

P 2	事務局よりごあいさつ	事務局	石塚 脩之
P3~6	2009 年度の記録		
P 7	部員は家族だと思ふ	東北大学 3 年	田邊 拓也
P8~9	JWOC2009 を終えて	東北大 OLC	大沼 由佳
P10~11	JWOC 2009 報告書	宮城学院女子大学 3 年	菊池 ひかる
P12~13	東北大大会や青葉会総会のお知らせ		石塚 脩之
	寄付のお願い		高田 弘樹
P 14	事務局の連絡先		

青葉会総会&飲み会のお知らせが 12 ページに書いてあります。申し込み方法も記載しておきましたので、参加を予定している方はお早めにお申し込みください。
申し込み締め切りは 8/20(金)です。

事務局よりごあいさつ

事務局 石塚 脩之 (05年入学)

会計 高田 弘樹 (05年入学)

拝啓

盛夏の候、青葉会の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
今年度の青葉会は上記の通り、事務局一石塚、会計一高田が運営しております。

会報の発行が2年ぶりとなってしまいましたので、一昨年のことから少々振りかえっていきたいと思います。一昨年はインカレのあらゆる種目で東北大生が大暴れました。ロングでは日下雅広(05年入学・当時4年)が個人戦3連覇を達成し、ミドルでは太田貴大(05年入学・当時4年)が日下との秒差の戦いを制して優勝しました。そして、一番忘れてはならないのが、女子団体戦での東北大初優勝です。東北大女子は団体戦への出場が一時期止まってしまいましたが、女子部員もたくさん入り、ついに復活して優勝。東北大の歴史に残る偉業を成し遂げました。

昨年はロングで18年続いていた選手権入賞者が途絶えてしまい、団体戦も男女ともに優勝を逃してしまうなど、やや厳しい結果となりました。しかし、その中でも大橋悠輔(06年入学・当時4年)がミドルで優勝し、東北大の伝統を守ってくれました。また、山川杯は昨年も圧倒的なメダル数で3連覇し、部員の層の厚さを見せつけた形です。山川杯はもうこのままずっと部室に置きっぱなしでいいですね。

そして今年、52名(男子43名・女子9名)もの部員が入部するという、今までに無いパターンでスタートした今年度の東北大ですが、指導方針や楽しみ方などに創意工夫を凝らし、今年もしっかりと活動しています。部室でのミーティングは足の踏み場がなくなるほどの人数が参加してくれています。それっぽい大人数の集団を大会会場などで見かけましたら、ぜひ声をおかけください。ちなみに、部会はまだ大講義室でないとは聞けません…。

また、今年度はWUOCに江幡禎子(06年入学・現M1)が出場します。みなさまの元にこの会報が届くころには大会は終了していますが、本人に会ったときにでも活躍をねぎらってください。

さて、今年の東北大学オリエンテーリング大会は6年ぶりに荒浜が舞台です。今年は全年齢共通の予選・決勝方式になるのだとか。3年生を中心に、熱心に準備を進めているようです。4年生が企画している前日イベントの多賀城緩衝緑地と共に、ぜひご参加下さいますよう、運営者に代わりましてお願い申し上げます。

末筆ながら青葉会の皆様のご健康とご発展をお祈りしてご挨拶と代えさせていただきます。

敬具

2010年 7月 石塚 脩之

2009 年度東北大学学友会オリエンテーリング部の記録

矢板インカレロング 2009

2009 年 11 月 22 日

選手権クラス

ME - 9.9 km ↑ 440 m

1	小林 遼	1:19:12	東京 3
2	岡本 将志	1:22:04	早稲田 3
3	林 真一	1:22:19	名古屋 4
4	片岡 裕太郎	1:23:00	名古屋 4
5	谷川 友太	1:23:10	名古屋 4
6	神谷 泰介	1:24:23	筑波 4
7	大橋 悠輔	1:25:02	東北 4
12	佐藤 悠太	1:29:39	東北 3
14	三森 創一朗	1:30:22	東北 3
23	田邊 拓也	1:33:49	東北 2
27	中井 智規	1:35:01	東北 2
33	和気 昌弘	1:37:02	東北 3
37	戸田 瑛	1:42:26	東北 3
41	長峯 大樹	1:46:43	東北 4
42	八重樫 集	1:47:06	東北 4
52	小野 敦央	1:58:46	東北 2
53	梶谷 周平	2:01:17	東北 4
56	鈴木 淳士	2:11:53	東北 4
	吉谷 浩平	DISQ	東北 1

WE - 6.1 km ↑ 215 m

1	高野 美春	1:01:53	十文字学園女子 3
2	山本 紗穂里	1:08:06	筑波 3
3	田村 蓉子	1:08:16	東京工業 2
4	星野 智子	1:08:25	津田塾 2
5	柴田 彩名	1:08:55	椛山女学園 3
6	新井宏美	1:09:14	新潟 3
10	江幡 禎子	1:16:42	東北 4
11	佐野 まどか	1:17:04	東北 2
13	大沼 由佳	1:17:54	東北 2
21	本間 理紗	1:30:05	東北 3
29	鈴木 聡子	1:41:14	東北 4

学生一般クラス (入賞者)

MUF1 - 4.1 km ↑ 130 m

3	齋藤 遼一	0:33:01	東北 1
4	嵯峨 駿佑	0:33:32	東北 1

MUF2 - 4.3 km ↑ 125 m

1	関口 智大	0:32:05	東北 1
2	中村 憲	0:34:25	東北 1
3	田村 直登	0:35:23	東北 1

WUF - 4.1 km ↑ 100 m

6	平方 遥子	0:45:26	東北 1
10	青木 佳世	0:48:13	東北 1

WUL - 5.3 km ↑ 160 m

1	水野 綾子	0:53:32	東北 3
---	-------	---------	------

選手権クラス (B-fin は入賞者)

MEA - 5.9 km ↑ 260 m

1	大橋悠輔	0:43:34	東北 4
2	小林 遼	0:44:07	東京 3
3	松井 健哉	0:44:16	名古屋 3
4	山上 大智	0:44:19	東京 3
5	林真一	0:44:40	名古屋 4
6	片岡裕太郎	0:46:33	名古屋 4
16	梶谷周平	0:52:11	東北 4
28	三森 創一朗	0:54:33	東北 3
30	和氣 昌弘	0:55:43	東北 3
32	長峯大樹	0:56:14	東北 4
33	八重樫集	0:56:21	東北 4
46	小野 敦央	1:23:48	東北 2
47	齋藤 遼一	1:37:28	東北 1
	戸田 瑛	DISQ	東北 3
	中井 智規	DISQ	東北 2

WEA - 4.3 km ↑ 150 m

1	高野 美春	0:41:07	十文字女子 3
2	星野 智子	0:42:50	津田塾 2
3	鈴木聡子	0:45:07	東北 4
4	水野 日香里	0:46:18	椚山女学園 3
5	新井 宏美	0:46:22	新潟 3
6	田村 蓉子	0:47:06	東京工業 2
10	本間 理紗	0:51:15	東北 3
	大沼 由佳	DISQ	東北 2

MEB - 5.9 km ↑ 260 m

2	田邊 拓也	0:50:41	東北 2
---	-------	---------	------

WEB - 4.3 km ↑ 150 m

2	佐野 まどか	0:49:32	東北 2
---	--------	---------	------

学生一般クラス (入賞者)

MUF1 - 3.5 km ↑ 110 m

3	中村 憲	0:28:43	東北 1
---	------	---------	------

MUF2 - 3.5 km ↑ 105 m

1	石井 亘	0:29:43	東北 1
---	------	---------	------

WUF - 2.1 km ↑ 90 m

2	平方 遥子	0:24:00	東北 1
---	-------	---------	------

WUA - 2.7 km ↑ 105 m

3	水野 綾子	0:33:15	東北 3
---	-------	---------	------

ME

1	東京大学	小林 遼	田中 裕也	山上 大智
	2:15:41 (5)	CRZ 0:48:34 3 男	1 ASX 0:36:49 1 4 男	1 BQY 0:50:18 2 3 男
2	名古屋大学	松井 健哉	林真一	片岡裕太郎
	2:17:45 (1)	AQY 0:52:54 3 男	1 CSX 0:32:27 3 4 男	1 BRZ 0:52:24 1 4 男
3	東北大学	田邊 拓也	三森 創一朗	大橋悠輔
	2:27:21 (3)	CQX 0:58:05 2 男	1 ASY 0:38:29 8 3 男	1 BRZ 0:50:47 4 4 男
4	早稲田大学	岡本 将志	太田 瑛佑	水木 啓介
	2:30:47 (11)	CRZ 0:51:55 3 男	2 BSY 0:37:19 2 2 男	1 AQX 1:01:33 3 4 男
5	新潟大学	立川悠平	久保 貴大	田仲圭
	2:37:50 (2)	BQY 0:56:08 2 男	2 ASX 0:42:00 6 3 男	2 CRZ 0:59:42 5 4 男
6	京都大学	宮本 佳記	栄森 貴久	伴 毅
	2:42:11 (8)	AQX 0:56:11 3 男	1 BSY 0:44:04 7 4 男	2 CRZ 1:01:56 6 2 男

WE

1	椛山女学園大学	柴田 彩名	小玉 千春	水野 日香里
	2:26:48 (52)	CQZ 0:54:28 3 女	1 ASX 0:40:50 3 2 女	1 BRY 0:51:30 1 3 女
2	東北大学	大沼 由佳	佐野 まどか	鈴木聡子
	2:32:18 (51)	CRZ 0:57:33 2 女	2 BSY 0:37:59 6 2 女	1 AQX 0:56:46 2 4 女
3	宮城学院女子大学	菊池 ひかる	竹之内香	後藤未妃
	2:41:03 (55)	ARX 0:54:22 2 女	1 CSZ 0:53:02 2 4 女	3 BQY 0:53:39 4 4 女
4	岩手大学	畠山 真紀	江口 沙綾	根本真弓
	2:45:51 (56)	ARX 0:57:25 1 女	2 CSZ 0:50:27 4 2 女	2 BQY 0:57:59 6 4 女
5	東京農工大学	村松 瞳	勝田 あかね	阿久津 美里
	2:52:35 (54)	AQX 0:58:58 2 女	3 CSZ 0:48:36 7 2 女	1 BRY 1:05:01 5 4 女
6	金沢大学	高橋 愛衣	安部愛加	野口真規子
	3:06:39 (81)	CQZ 1:01:29 3 女	3 BSY 0:51:41 11 4 女	2 ARX 1:13:29 7 4 女

一般クラス（入賞チーム）

MUR

	東北大学 MA	戸田 瑛	佐藤 悠太	新見 健輔
	1:26:17	B 0:28:47	2 A 0:29:53	8 C 0:27:37
2	(104)	3 男 0:28:47	8 3 男 0:58:40	3 2 男 1:26:17

WUR

	東北大学 WA	本間 理紗	水野 綾子	江幡禎子
	1:31:18	A 0:27:49	2 C 0:31:31	1 B 0:31:58
1	(302)	3 女 0:27:49	4 3 女 0:59:20	1 4 女 1:31:18

XUR

	東北大学 XA	高崎 晋太郎	青木 佳世	布木 純
	1:20:16	A 0:21:59	2 B 0:32:06	4 C 0:26:11
2	(401) 新人	1 男 0:21:59	2 1 女 0:54:05	2 1 男 1:20:16
	東北大学 XB	平方 遥子	嵯峨 駿佑	石井 亘
	1:21:33	A 0:29:02	6 C 0:30:14	5 B 0:22:17
3	(402) 新人	1 女 0:29:02	8 1 男 0:59:16	3 1 男 1:21:33

部員は家族だと思おう

東北大学3年 田邊 拓也

はじめまして、東北大学3年、今年度東北大学の主将を勤めさせていただきます、田邊と申します。たくさんの先輩たちが想いを捧げてきたからこそ今の部がある、そんな部を率いていくことが出来る事を恐れ多く感じながらも、大変光栄に思います。

「部員は家族だと思おう」、冒頭に記したこの言葉は僕の高校時代に、バレーボール部の先輩の一人が引退するときに残していった言葉です。

当時の僕は内気で、バレーボールもあまりうまくありませんでした、そんな中で特別目立つ部員でなかった僕に対してもその先輩たちはよく構ってくれました。特にその先輩には散々いじられたり、からかわれたりしましたが、あの方のおかげで部内での存在を確立できたなあというのは確かです。どんなに口ではひどいことを言っている、やはりその先輩が他の部員のことを、そしてその部のことを好きでしようがないんだな、というのが誰にでも伝わってきました。

そんな経緯で僕の中にはその言葉と考え方が根強く残っています。

話は戻りますが、今年度は男女リレーの優勝、山川杯の獲得、Enjoy & Exciting、みんなでインカレに行こう、の4つを部の目標として掲げました。

近年、男子選手権リレーの優勝から遠ざかっており、他大学はますます強力になっています。

選手として、先輩たちの背中を見てきた一人として、選手権リレーで勝ちたいという気持ちは年々強くなっているのも確かです。選手権リレーで優勝するところを見せたいと思う先輩もいますし、後輩にこの気持ちを引き継いでいって欲しいとも思っています。

それでも主将としての僕の根幹にあるのは「部員は家族である」という考え方でした。

オリエンテーリング部は自分のペースで練習し、それぞれが自分なりの目標を持ち、そして部の中でやりたいことも全く異なった人たちの集団です。また、そうした違うモチベーションを持つ人同士がお互いに認め合って部を構成しているというところに一つの部としての強さがあります。決して全ての人が団体戦優勝を目標としているような部活ではありません。昨年は32人、今年は52人が入部しました、部員数はついに3桁となり、かつてないほどの部員がいます。その中で個々が部の中で自分の居場所を見つけられるように、僕自身は上から見るのではなく、これまで通り、同じ目線で直接関わっていきたいと思っています。(あまりしゃべるのは得意ではないのですが…)

今の東北大学オリエンテーリング部は例年より少しだけ大きく変わりゆく時なのかもしれません。それでも変わらずに、僕が1年生のときに感じたように、この中で4年間やっていきたい、と1人1人が思えるような部であり続けたいと思います。これまでこの部からたくさん学ばせていただきました、たくさんの人と出会えました、感謝の気持ちを込めてこの1年、部と向き合っていこうと思います。

平成22年 7月2日

JWOC 2009 を終えて

東北大 OLC 大沼 由佳

<セクションまで>

部内の JWOC 行った先輩方からいろいろな話を聞いていたこともあり、早い時期から JWOC に対して憧れを持っていました。しかし、金銭的な面やテスト期間に長く学校を休まなければならないということから、セクションを受けるかどうか迷っていました。そんな時先輩に言われた「お金や単位はどのようにでもできる。人生で1回しかないチャンスを逃すなんてもったいない。」という言葉でセクションを受けることを決意しました。

<JWOC まで>

セクションを通過してからは中距離走、LSD、スピトレ、休養のサイクルでトレーニングをすると決め、それに沿って習慣的に走るようにしました。それまで好きな時に走るだけだった私にとって慣れるまではとても大変でしたが、慣れてからは生活習慣の一部としてトレーニングができるようになっていました。

技術面は、JWOC 合宿で確実にレベルアップしたと思いますが、JWOC のレースで結果を残すレベルには及ばず、やはりセクションを通過してから3か月のトレーニングで JWOC に臨むのには限界があると感じました。

<トレーニングキャンプ>

トレーニングキャンプで初めてイタリアの山に入ったとき、イタリアの山は日本の山と似ているところが多く、日本と同じような感覚でオリエンテーリングができると感じました。予想よりも早くイタリアの山に対応できたと思います。

一方、スプリントが行われる入り組んだ町並みにはなかなか慣れることができませんでした。日本でのスプリントより数倍難しく、戸惑いが大きかったです。

早目に現地入りしていたことで納得するまでトレインに入ることができ、不安なくレースに臨むことができました。

<スプリント>

スプリントには苦手意識があり、スタート前はとても緊張していました。序盤に大きなミスをして動揺していたせいか、町中の細かいレグで隣接のコントロールのものと間違えてしまい、失格になってしまいました。緊張と暑さで集中が完全に切れていました。

初めての海外でのレースでこの結果だったので、ショックはかなり大きかったです。この日はとにかく明日に向けて気持ちを切り替えることだけを考えました。

<ロング>

うまく気持ちを切り替えてレースに臨めました。それなりの程度の結果を残せたのは、地形をみながらのコンタリングがうまくできたからだだと思います。しかし慎重になりすぎて、直進できるところも道

を回ってしまったり、地形を細かく見すぎたりしてスピードが出せませんでした。

<ミドル>

予選は、デフをよく見ていなかったために1つ大きなミスをしました。その1ミス以外はルートも良く、スピードも出せていただけに悔いの残るものとなりましたが、周りの地形をよく見ることができ、とても楽しくオリエンテーリングができました。

ミドルは一番力を入れていた種目で、前日に1つのミス以外はうまく回れていたのに、決勝は結果を残したいと思っていました。その気持ちが強すぎたのか、会場が見えてから焦ってしまい、後半の岩石地帯で細かいミスを連発してしまいました。

<リレー>

リレーでは初めて1走を走ることとなり、相当緊張していました。初めは慎重にと言いつつスタートしましたが、外国選手の速さに圧倒され、1ポで8分程ミスをしてしまいました。後の2人に申し訳ないと思いつつも、そのミス以降は緊張が解けて地図も良く読め、落ち着いてレースができました。

結果は、やはり1ポでのミスが大きく目標の1時間を切ることはできませんでした。

<最後に>

今回 JWOC で、オリエンテーリングはメンタルが大きく影響するスポーツだと改めて感じました。日本代表として世界の大会に参加するプレッシャーは予想以上に大きく、思ったような結果を出せなかったことは本当に悔しく、申し訳なく思います。

しかし、得たものは悔しさだけではなく、海外でオリエンテーリングをする楽しさや、世界トップレベルの走りを体感できたこと、海外の選手との交流など、多くのことを得ることができました。今後も、東北大・MGOLCから多くの方が JWOC を目指し、出場することで、1人でも多くの人に、海外でたくさんの経験をしてきて欲しいと思います。

これからこの海外での経験を絶対に無駄にせず、自分のオリエンテーリングに生かしていきます。そして将来、日本のオリエンテーリング界を盛り上げ、支えていく1人になればと思います。

最後に、監督・コーチの方々をはじめ JWOC 合宿や現地などで様々な形で支えてくださった方々、応援してくださった方々、そして JWOC 09 メンバーに感謝したいです。本当にありがとうございました。

JWOC 2009 報告書

宮城学院女子大学 3年 菊池 ひかる

昨年、イタリアで行われた JWOC2009 に日本代表として参加させていただきました。

JWOC までの準備

JWOC ではトレキャンも含めると約 2 週間オリエンをすることになるので、まず体力が必要だと思い、持久力トレーニングを中心に行いました。4 月は月 100km を目標に走り込みました。1 年生のときもそこそこ走っていたので体を壊すこともありませんでした。5 月、6 月は週末に合宿や大会がつまっていたので疲れを残さないように気をつけました。何回か東北大の地図読みに混ぜてもらいました。東北大の地図読みは MG での地図読みともまた違って、楽しかったです。先輩方にアドバイスしていただき、とても勉強になりました。

トレキャン

イタリアのトレインは日本とそんなに変わらない感じでしたが、地図と自分のイメージが合わないことが多かったです。これは地図読みができていないせいだと思います。あとは自信がなかったのと、うまくできるかという不安が大きかったです。楽しそうにしているみんなを見て焦り、山の中でたまに外国人と会ってそのスピードに焦り、トレキャン中に自信がなくなってしまい本戦どうなるか心配でした。トレキャン最終日になり、その日のオリエンはじっくりいきました。最終日でしたが良い感じで終わることができたので良かったです。

トレキャン中は、山から帰ってきたらみんなでサッカーをしました。トレキャンでも結構走り、サッカーでも本気で走ったので筋肉痛になりました。あとはコープにお買い物行ったり、ジェラードやピザを食べました。ピザはほんとにおいしかったです。

JWOC 本戦

・スプリント

スプリントはあまり好きではないので、大会の雰囲気をつかめればいいかなという気持ちで走りました。イタリアの町は家が密集していて並び方も整っていないため複雑でした。でも日本の公園でのスプリントより楽しかったです。やっぱり外人さんはすごく速かったです。自分が本気で 50m 走ってもあのスピードは出ないなあと思いました。あのスピードを常に出しているからすごい。骨格の問題なのかなあとも思いました。レースは大きなミスなく終わりました。

・ロング

1 番楽しみにしていたのはロングでした。ロングのトレインは標高 2000m 近くあるところだったので、すぐに息が上がりました。スタート前、中止になるんじゃないかっていうくらい雷がバリバリ鳴っていて雨が降っていました。スタートしてからは頭痛がひどくて、前半のことをあまり覚えていません。ビジュアルを過ぎてからも頭痛いし泥でぬかるんで走りにくいし、もう早くゴールしたいと思いました。ビジュアルではみんなの応援が聞こえました。しかしその後、集中力が切れて、もうやだと思っただけでした。違うポストを見つけたり、シートをかぶって隠れていた役員と目があったり。それから

立て直そうとしましたが、またミスが続いて散々な感じで終わりました。今までで1番長く、きついレースでした。

・ミドル予選

1ポからミスってしまい、その後も立て直せなくてそのまま終わりました。テントに戻るとみんなもだめだったらしく、重い空気が漂っていました。泣いていた子もいました。自分は泣くほど悔しいとは思わなかったので、意識の差を感じました。

・ミドル決勝

予選のことを引きずってしまい、切り換えられないままスタートしました。トルコ人に現在地を聞かれましたが、自分もつぼっていたので教えられませんでした。最後はトルコ人とチェイスしました。トルコ人は負けず嫌いらしく、ゴールまでの道走りで抜かれました。Aファイの選手の走りを見ましたがラスポ→◎とは思えないスピードで、走っているときの迫力もすごかったです。

・リレー

初めての1走でした。自分のペースで走れるから、と稲葉さん（トレキャン中にドイツから来てくださったコーチ）からの提案でした。2、3走しかやることがなかったので不安でした。

スタート前は外人の気合いの入り方、雰囲気にも圧倒され、とても緊張しました。スタポに着いたときにはもう周りに誰もいませんでした。レースはスムーズに行けたところが1つもなかったです。ロングやミドルと同じように立て直そうと思っても、またどこか行って、つぼって、大変でした。イタリアまで何しに来たんだろうって思いました。

今後について

JWOCでは辛いレースが多く、自分の技術・体力のなさを痛感しました。見つかった課題を1つ1つなくしていけるようにこれから取り組んでいきたいと思います。引退されましたが、後藤未妃先輩を超えることが目標です。また、技術・精神的にMGを引っ張っていけるように頑張ります。これからMGからもJWOCを目指す後輩が出てくるように、JWOCについて伝えていきたいと思います。

最後に、応援して下さった先輩方、同期のみなさん、後輩のみなさん、かつしーさん、ありがとうございました。

おわり

東北大大会や青葉会総会のお知らせ

石塚 脩之

この場をお借りして、現役生に代わり東北大大会関連の宣伝をさせていただきます。青葉会総会のお知らせも載せます。私の主観がかなり入った文章ですが、ご容赦ください…。

9/11 (土)

◆東北大大会前日イベント（トレイン：多賀城緩衝緑地）

多賀城緩衝緑地は、2008年に当時4年だった太田貴大が、同期の柏俊輔や日下雅広と共に3人がかりで開拓した公園トレインです。川を挟んでエリアの特性が変わる中で、パークO特有のスピーディなレースが楽しめます。もし、2008年当時は未調査だった外周のおびただしい数の生垣が全て書かれている場合は、スプリントの難易度もかなり上昇することが想定されますね。

今年はスプリントの他にも、トレイルOも行うということで、精度の高い地図が期待できます。東北大OBの中でもトレイルOで高い実力を誇る日下雅広・高田弘樹・八重樫集が運営に関わるといことで、こちらも期待大です★



前日イベント：大会ホームページ

URL  : <http://tohokuzenjitsu.blog2.fc2.com/>

◆青葉会総会&飲み会（トレイン(?)：国分町）

11日の夜、青葉会総会&飲み会を開催します。時間は19時ころ開始を予定していますが、前日イベントタイムスケジュール次第ではもっと遅くなるかもしれません。


アンケートをとるなど開催地を検討した結果（自分の面識ある学年にしかアンケートとれなくて申し訳ありませんが）、宿ではなく、国分町の方が色々動きやすく参加もしやすいだろうということになりました。遠方から参加される方はややきついかも知れませんが、多数の方にご参加いただければ幸いです。参加申し込みは、下記アドレスに電子メールでお願いいたします。総会は飲み会の始めに時間をいただいて行う予定ですが、総会で取り上げてほしい事項などございましたら、参加申し込みのメールにその内容も記載していただきたく思います。

なお、店は参加人数が確定次第決めますが、費用は3000円前後の予定です。参加費は当日回収します。久々に同期や先輩、後輩と会える機会ですので、みなさまのご参加をお待ちしています。



青葉会総会参加申し込み先：事務局長 石塚 脩之（05年入学）

e-mail  : [yi \[at\] o-news.net](mailto:yi[at]o-news.net)（[at] を@に変えて下さい）

TEL  : 090 - 7063 - 5921（急ぎの連絡の場合）

申し込み締切： **8/20**（金）

9/12 (日)

◆第 33 回東北大学大会 (テレイン：荒浜)

荒浜に関しては、東北大 OLC で活動してきたみなさまには説明不要でしょう。最近では植生の変化で地図が若干使いにくくなっていましたが、6年ぶりのリメイクです。微地形の松林の中をスピーディに駆け抜けるレースが楽しめます。全年齢共通 予選・決勝方式という珍しいレース方式ですが、白熱すること間違いなしです！今年恒例の砂浜レッグはあるのか!?

そういえば、今年の大会マスコットは、前回の荒浜大会マスコット「松子さん」が帰りを待っている彼氏という噂ですよ。



東北大大会：大会ホームページ

URL  : <http://33rd.olc.org.tohoku.ac.jp/>

東北大大会関連の宣伝は以上です。

…スペースが盛大に余りましたね。だっちゃんみたいにうめくさを書くわけにも行かないし、どうしましょう。せっかくなので、自分が関わるもう1つの大会の宣伝でもさせていただきます。どさくさに紛れてすみません…。

10/31 (日)

◆くりはら大会 (テレイン：栗原市築館いこいの森 **New map!**)

これは東北大ではなく、宮城県オリエンテーリング協会が主催する大会ですが、東北大や MG からも運営者・競技者両方で多数の参加が見込まれています。

特徴は何と言っても「驚きの白さ！」…もちろん、洗剤の CM の売り文句ではなく、地図のヤブのことで。9割近くがスーパーA という超高速テレインが舞台で、爽やかに走れること間違いなしです。

こんなに爽やかなテレインで走れる機会なんて滅多にない！というわけで、こちらの方も、都合が合えばご参加いただくと嬉しいです。「東北のマッパー」として、さくらんぼ大会の調査などで活躍中の日下雅広が、高精度の地図を提供してくれるはずですよ。ちなみに、私も競技責任者&要項・プログラム作成担当として活動します。



くりはら大会：大会ホームページ

URL  : <http://www.orienteering.com/~miyagi/kurihara2010/index.htm>

寄付のお願い

高田 弘樹

青葉会運営資金は、東北大学学友会オリエンテーリング部 OB・OG の皆様の寄付によって賄われております。昨年度に会報を発行できなかった影響もあり、現在はインカレのプログラムに載せる広告や、入賞者への花束すら満足に買えない状況です。

青葉会として、現役生への期待を込めてできるだけだけの援助ができればと考えております。誠に恐縮ではございますが、寄付をよろしくお願い致します。一口 1000 円です。

寄付は郵便振替でお願いします。

加入者名：「青葉会」

口座番号：02280-8-4697

通信欄に住所、氏名、電話番号、E-mail アドレスをご記入下さい。

郵便振込みではなく、銀行振り込みなどをご希望の方については個別に対応させていただきますので事務局までご連絡ください。

事務局の連絡先

青葉会総会への参加申し込みや、その他ささいなことでもご意見、ご要望などございましたら、下記の事務局までご連絡ください。


また、住所変更したり、パソコンのメールアドレスを変更した場合なども、お手数ですが下記アドレスまで連絡ください。



青葉会問い合わせ先：事務局長 石塚 脩之（05年入学）

〒980-0871 仙台市青葉区八幡4丁目18-7 ディアスBee103

e-mail  : yi **【at】** o-news.net (**【at】** を@に変えて下さい)

TEL  : 090 - 7063 - 5921 (急ぎの連絡の場合)

2010 年度版青葉会会報

2010 年 7 月発行

発行責任者：石塚 脩之